

宇都宮商工会議所
創立130周年記念誌
1893 - 2023



創立130周年記念事業／創立130周年記念ロゴマーク	3
ごあいさつ	4
宇都宮商工会議所 会頭 藤井 昌一	
宇都宮商工会議所創立130年を祝して	5
栃木県知事 福田 富一	
商工会議所創立130周年を祝して	6
宇都宮市長 佐藤 栄一	
祝 辞	7
日本商工会議所 会頭 小林 健	
宇都宮商工会議所の歩み	8
歴代会頭	17
役員・議員	18
部会／委員会	
青年部歴代部長会長／女性部歴代会長	21
常勤役員および事務局職員／組織図	22
栃木県・宇都宮市の概要／宇都宮商工会議所の概要	23

宇都宮商工会議所創立130周年記念事業

- 1 **創立130周年記念式典・祝賀会**
記念式典および祝賀会を開催〈8月30日(水) ホテルニューイタヤ〉
- 2 **創立130周年記念「一青窈スペシャルコンサート」**
創立130周年会員大会として「一青窈スペシャルコンサート」〈9月18日(月・祝) 宇都宮市文化会館〉
- 3 **創立130周年記念誌**
会報「天地人」の特別号として全会員に配布〈8月10日(木)〉
- 4 **創立130周年記念ロゴマーク**
記念ロゴマークを制作、会報や記念誌等で使用〈4月10日(月)〜〉
- 5 **創立130周年記念特設ウェブサイト**
特設ウェブサイトを開設〈4月1日(土)〜〉
- 6 **創立130周年記念動画**
記念動画を制作、ウェブサイトで公開〈8月30日(水)〜〉
- 7 **創立130周年記念ノベルティ**
記念ノベルティを制作、記念式典・祝賀会、コンサート等で配布〈8月30日(水)〜〉
- 8 **創立130周年記念バスツアー**
日帰り会員バスツアーを開催〈10月3日(火) 山梨方面〉
- 9 **創立130周年記念チャリティゴルフ大会**
チャリティゴルフ大会を開催〈11月18日(土) 宇都宮カンツリークラブ〉

■ 創立130周年記念ロゴマーク



ANNIVERSARY

宇都宮商工会議所
THE UTSUNOMIYA CHAMBER OF
COMMERCE AND INDUSTRY

宇都宮の地域経済を支えて、130年。

宇都宮商工会議所は明治26(1893)年8月12日、全国37番目の商工会議所として誕生しました。

地域に根差し、変革の時代に挑戦する地域総合経済団体として、さらなる飛躍を目指します。

■ デザインコンセプト

宇都宮を代表する縁起物の郷土玩具「黄ぶな」のカラーリングを取り入れることで、疫病退散、会員の皆さまの末永い健康(無病息災)の願いを込めました。

130の「0」の部分には、循環型社会を目指す持続可能な経営や途切れることのない次代への承継を「円」で表すとともに、宇都宮商工会議所と会員の皆さまとのつながりを表す「縁」を掛け合わせて表現しました。



ごあいさつ

宇都宮商工会議所

会頭 藤井 昌一

宇都宮商工会議所は、会員の皆さま並びに多くの関係者の皆さまのご支援ご協力により、令和5(2023)年8月12日に創立130周年を迎えることとなりました。ここに心から厚く御礼申し上げます。

当商工会議所は、明治26(1893)年8月12日に宇都宮商業会議所として誕生し、昭和3(1928)年の商工会議所法施行で名称を宇都宮商工会議所と改められました。

第二次世界大戦期の統制経済下では、昭和18(1943)年に「栃木県商工経済会」に再編成され本来の活動は一時中断を余儀なくされましたが、終戦後の昭和21(1946)年に、社団法人宇都宮商工会議所としていち早く再発足し、昭和28(1953)年に施行された現行の商工会議所法に基づく公益法人として今日に至っています。

さて、近年の世界経済は、情報化社会の進展にともなうサイバーセキュリティ対策や地球規模の感染症・自然災害への対応、ロシア・ウクライナ問題に代表される地政学的リスクの高まりなど、大きな試練に見舞われ、今もなお予断を許さぬ状況が続いております。加えて、国内においては労働力人口減少への対応や脱炭素・循環型社会の実現など、企業の取り組むべき課題が山積しています。

こうした中、令和2(2020)年1月から始まった新型コロナウイルス感染症の国内感染拡大により、社会・経済は大きく混乱し、対策に追われる日々が続いてまいりましたが、ようやく収束の兆しが見えてきたことは喜ばしい限りであります。

本年、宇都宮市では次世代型路面電車と呼ばれるLRT(Light Rail Transit)の開業を迎え、スーパースマートシティの着実な実現に向けた新たなステージに上がろうとしています。

当商工会議所といたしましても、コロナ禍で急変した生活や働き方改革による労働環境の改善を意識しながら企業支援の強化を図るとともに、行政と連動したまちづくりに取り組んでまいります。そして、先覚者達の弛まぬ努力によって紡がれた歴史を踏まえながら創造力を発揮し、地域経済の持続的な発展を目指してまいりますので、関係者の皆さまにはさらなるご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、140周年に向けた新たなスタートを踏み出すにあたり、共に歩み続ける会員の皆さまのますますのご発展を心からご祈念申し上げ、挨拶いたします。



宇都宮商工会議所 創立130年を祝して

栃木県知事

福田 富一

宇都宮商工会議所が創立130周年を迎えられましたことを、心からお祝い申し上げます。

宇都宮商工会議所におかれましては、明治26(1893)年8月に全国で37番目に「宇都宮商業会議所」として創設されて以来、長きにわたり、地域に根ざした総合経済団体として、商工業の発展はもとより、まちづくりや社会福祉の増進に大きく貢献してこられました。今日、北関東最大の都市となった宇都宮市の経済的な発展があるのは、ひとえに、藤井会頭をはじめとする歴代会頭、役職員並びに会員の皆さまの御尽力のたまものであり、改めて感謝申し上げますとともに、深く敬意を表します。

今後とも、事業の再生や承継支援等にも取り組む中小企業・小規模事業者の身近な支援拠点として、また、解決すべき課題に果敢に挑戦する地域経済のけん引役として、事業者の成長・発展と活力ある地域社会の実現に、大きな役割を果たされますことを御期待申し上げます。

さて、長く続いたコロナ禍が落ち着きつつあるところですが、人口減少・少子高齢化の進行やデジタル化の進展、カーボンニュートラルの実現に向けた社会変革、物価の高騰など、我が国の社会経済情勢は大きく変化しており、時代の潮流を的確にとらえ、課題解決と経済成長の両立を図る持続可能な社会の実現に取り組んでいかななくてはなりません。

このため本県では、次の時代の成長を担う次世代産業の創出やものづくり産業の競争力強化、サービス産業の生産性向上、国内外からの観光誘客など、各種施策を積極的に展開しております。そして何より、地域経済を支える中小企業・小規模事業者の支援に、オールとちぎで取り組んで参りますので、皆さまの一層の御支援、御協力をお願い申し上げます。

結びに、記念すべき創立130周年を契機に、宇都宮商工会議所が、さらなる創造力を発揮し、地域経済の持続的な発展に大きな役割を果たされますことを御期待申し上げますとともに、宇都宮商工会議所のますますの御発展と会員の皆さまのさらなる御活躍を祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。



商工会議所 創立130周年を 祝して

宇都宮市長

佐藤 栄一

このたび、宇都宮商工会議所が創立130周年を迎えられましたことを、心からお祝い申し上げます。

宇都宮商工会議所におかれましては、明治26(1893)年の創立以来、数々の経済危機に直面しながらも、時代や地域のニーズを踏まえさまざまな事業を展開され、着実に発展を遂げてこられました。これもひとえに、歴代会頭をはじめ、役員各位、会員諸氏並びに職員皆さまの御尽力の賜物であり、心から敬意を表します。また、地域に根差した地域総合経済団体として、長きにわたり市民生活の向上と社会環境の変化に対応しながら、中小企業の経営基盤を強化するため、経営相談、人材育成など、地域の事業者に寄り添った支援により、本市の商工業の発展や地域経済の活性化に多大な御貢献を賜り、厚く御礼を申し上げます。

さて、我が国の経済を取り巻く環境は、新型コロナウイルス感染症の影響や世界的な原油・原材料価格の上昇等による物価高騰のほか、少子・超高齢化社会による労働力・人材不足など、厳しい状況が続く中、中小企業にもカーボンニュートラルやデジタルトランスフォーメーションへの対応が求められるなど、大きな転機を迎えております。

このような中、本市では、100年先も持続的に発展し続けるまちの姿「NCC（ネットワーク型コンパクトシティ）」を土台に、「地域共生社会」、「地域経済循環社会」、「脱炭素社会」の3つの社会が、「人」と「デジタル」を原動力に発展する、夢や希望がかなうまち「スーパースマートシティ」の実現を目指しており、市民・事業者・団体などが相互に連携しながら「人づくり」と「まちづくり」を一体的に推進しているところであります。

また、令和5(2023)年8月26日には、総合的な公共交通ネットワークの基軸となる全国初の全路線新設による「芳賀・宇都宮LRT」が開業し、目指す都市の将来像であるNCCの姿が目に見える形になり、まちや暮らしが大きく変わる節目を迎えております。

本市が50年先、100年先も持続的に発展していくためには、本市の経済を支える皆さまのお力添えが必要不可欠でありますことから、引き続き御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、記念すべき130周年を契機として、宇都宮商工会議所の今後の限りない御発展と会員並びに職員の皆さまの御活躍を心から祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。



祝 辞

日本商工会議所

会頭 小林 健

宇都宮商工会議所が創立130周年を迎えられましたこと、心からお祝い申し上げます。宇都宮商工会議所は、明治26(1893)年の設立以来、常に地域のリーダーとして、商工業の振興や地域経済社会の発展に大きく貢献してこられました。これも偏に、歴代および現在の役員、議員、会員、青年部、女性部そして職員の皆さまの弛まぬご尽力の賜物と存じ、深く敬意を表します。

さて、新型コロナの5類移行を契機として、我々はコロナを乗り越える「ビヨンドコロナ」のステージに入りました。経済・社会活動の本格化こそが最大の経済対策であり、地域経済・日本経済の成長に結び付けていかなければなりません。

他方で、複合的な要因による物価上昇や不透明な国際情勢をはじめ、大きな環境変化が次々に押し寄せ、極めて予測困難な状況が続いています。今こそ、商工会議所創設者である渋沢栄一翁の「逆境の時こそ、力を尽くす」という信念に学び、我々民間が成長の原動力であるという当事者意識を持ち、新しい視点からの「変革」に挑んでいくことが求められます。

こうした中、宇都宮商工会議所においては、全国に誇る「宇都宮餃子」という地域資源を活かしたまちづくり、観光振興に取り組まれており、コロナ禍で大きな影響を受けた事業者を支援すべく新たに事業を実施され、地域経済の好循環の実現に向けて貢献されておられます。

さらには、待望のLRTが開業。観光の起爆剤として広域的な集客効果も大いに見込まれるところであり、宇都宮の新たな公共交通のシンボルとして、市民の皆さまの期待も大きいものと存じます。今後も商工会議所が地域の中核となり、地域の一層の発展に向けて大きな役割を果たされますことを期待しております。

日本商工会議所は昨年、創立100周年という節目を迎え、天皇陛下のご臨席を仰ぎ、記念式典を挙行いたしました。陛下からは、全国の商工会議所が長年にわたって取り組んできた活動に対する労いとともに、「今後も力を尽くされることを希望する」というお言葉を賜りました。「地域とともに、未来を創る」の理念のもと、未来に向けた新たな歩みを進めていく決意を胸に、志を高く、新しい時代を皆さまとともに切り拓いてまいりたいと思います。

宇都宮商工会議所におかれましては、創立130周年を新たな出発点として藤井会頭を中心に一層結束を深められ、積極的な活動の展開により、コロナ禍からの復興、そしてさらに豊かで活力ある地域が創造されますことを衷心よりご期待申し上げます。

宇都宮商工会議所の歩み

1889年 - 2023年

(明治22) (令和5)

明治26(1893)年8月12日に全国37番目に誕生した宇都宮商工会議所。商工業者の振興発展と社会福祉の増進を図る唯一の地域総合経済団体として、今日に至るまでの130年間を年表でたどります。

●明治時代

- 1889年 2月 大日本帝国憲法発布
- 1889年 10月 宇都宮商業談話会(会議所の前身)準備会結成
- 1890年 4月 宇都宮商業談話会発足(会頭 上野松次郎)
- 1890年 9月 商業会議所条例公布
- 1892年 4月 宇都宮町の全商工業者により「宇都宮商業会」結成(会頭 中村忠吉)
- 1892年 8月 旭町1丁目に「旭日館」が竣工し、宇都宮商業会議所設立とともに所舎とする
- 1893年 8月 **宇都宮商業会議所設立出願認可**
- 1894年 1月 **宇都宮商業会議所定款認可**
- 1884年 2月 **上野松次郎を初代会頭に選任**
- 1894年 8月 日清戦争始まる
- 1894年 6月 **当所初の専任職員として荒川義興書記長を置く**
- 1895年 9月 **篠崎安平を第2代会頭に選任**
- 1897年 3月 **田中勝次郎を第3代会頭に選任**
- 1897年 9月 **上野松次郎を第4代会頭に選任(再)**
- 1899年 9月 伊藤博文が来遊、旧城館で演説
- 1902年 3月 商業会議所法公布、商業会議所条例は廃止
- 1904年 2月 日露戦争始まる
- 1904年 5月 **当所の会報が創刊**
- 1905年 8月 **上野松次郎会頭の主唱で「関東四県商業会議所連合会」を結成**
- 1909年 5月 宇都宮に大日本帝国陸軍第14師団の衛戍が完了

●大正時代

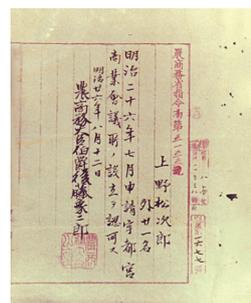
- 1912年 11月 **創立20周年記念祝典を開催**
- 1913年 4月 **下野興業銀行が開業、同行の定款作成等に協力(昭和7年の銀行整理政策まで存続)**
- 1913年 10月 **渋沢栄一が日光東照宮三百年奉斎会長として来遊した際に、当所の要請で市内で演説**
- 1914年 7月 **田中勝次郎を第5代会頭に選任(再)**
- 1914年 7月 第一次世界大戦始まる
- 1916年 9月 **当所議員一行が朝鮮・満州を視察**
- 1922年 2月 ワシントン海軍軍縮条約が採択、陸海軍ともに軍縮の流れが進む
- 1923年 9月 関東大震災が発生
- 1923年 9月 **被災した東京商業会議所に事務局職員を派遣**
- 1926年 6月 **旭町2丁目に新所舎の建設決定**

●昭和時代

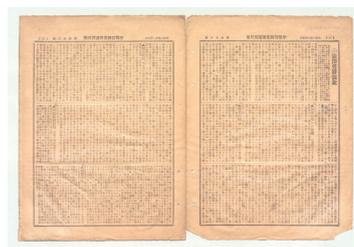
- 1927年 4月 商工会議所法公布
- 1928年 1月 商工会議所法施行
- 1928年 3月 「宇都宮商工会議所」と改称
- 1928年 4月 **大谷石づくりの新所舎が落成**
- 1929年 4月 **福田富次郎を第6代会頭に選任**
- 1929年 10月 世界恐慌始まる
- 1931年 1月 **上野松次郎(順一)を7代会頭に選任**



宇都宮商業会議所の所舎となった旭日館(1893年～1928年)



農商務大臣 後藤象二郎による宇都宮商業会議所設立許可書



渋沢栄一の演説内容が掲載された宇都宮商業会議所月報(第123号 大正2年10月30日)

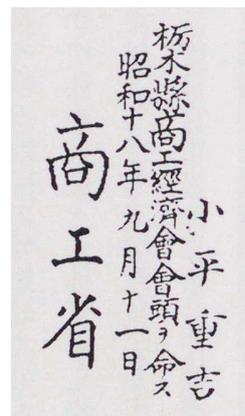


大谷石づくりの所舎(1928年～1979年)

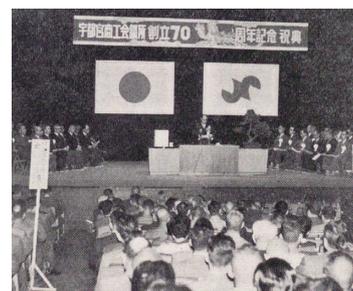
- 1931年 6月 第14師団の満州移駐に対し、市と共同で「師団存置同盟会」を結成
- 1931年 7月 1万4030名の満州移駐反対調印を集め、市と共同で総理大臣並びに陸軍三長官へ陳情書を提出
- 1931年 8月 東武宇都宮線開通
- 1931年 9月 満州事変
- 1933年 8月 第14師団増置の意向を受け、師団存置運動が終息
- 1933年 11月 宇都宮競馬場完成
- 1934年 8月 商工相談所を設置
- 1936年 7月 市と共同で宇都宮観光協会を設立
- 1938年 4月 国家総動員法、電力管理法が公布
- 1939年 2月 商工相談所内に「商工時局対策本部」を設置
- 1939年 9月 第2次世界大戦始まる
- 1941年 4月 横倉正吉を第8代会頭に選任
- 1941年 12月 太平洋戦争始まる
- 1943年 6月 商工経済法が施行
- 1943年 9月 栃木県商工経済会設立認可(会頭 小平重吉)
- 1943年 9月 宇都宮商工会議所が解散
- 1945年 7月 宇都宮大空襲
- 1945年 8月 終戦
- 1946年 10月 栃木県商工経済会解散
- 1946年 11月 日本国憲法発布
- 1946年 11月 社団法人宇都宮商工会議所を設立、小平重吉を第9代会頭に選任
- 1946年 12月 栃木県商工会議所連合会の創立総会を当所で開催
- 1947年 4月 新憲法下初の知事・市町村選挙で小平重吉が県内初の公選知事に当選
- 1947年 5月 玉木栄吉を第10代会頭に選任
- 1949年 7月 中小企業振興相談所を設置
- 1950年 5月 日本国憲法および商工会議所法が公布・施行
- 1951年 9月 サンフランシスコ講和条約
- 1953年 8月 商工会議所が公益法人として明記された新商工会議所法が公布
- 1953年 10月 新商工会議所法が施行
- 1954年 5月 上野小七を第11代会頭に選任
- 1954年 8月 新法による宇都宮商工会議所として再発足
- 1956年 1月 宇都宮青年会議所設立に協力
- 1956年 6月 百貨店法施行
- 1956年 8月 商業活動調整協議会(以下商調協)を設置
- 1957年 9月 宇都宮市商店街連盟を結成
- 1958年 11月 関東商工会議所連合会結成・加盟
- 1959年 11月 東武宇都宮百貨店が開店
- 1960年 6月 商工会の組織等に関する法律が施行
- 1960年 7月 宇都宮商工会議所中小企業相談所設置規則を制定、経営改善普及員を配置
- 1961年 6月 保坂正七を第12代会頭に選任
- 1962年 4月 経営改善普及員を経営指導員に改称
- 1963年 7月 中小企業基本法が公布・施行
- 1963年 5月 創立70周年記念式典開催
- 1964年 10月 東海道新幹線開通、東京オリンピック開催
- 1967年 6月 当所商業卸部会が会員大会で卸商業団地造成を提案・決議
- 1968年 1月 宇都宮卸商業団地協同組合創立
- 1970年 5月 会員事業所共済制度が開始
- 1971年 4月 宇都宮が商業近代化地域計画都市として全国10市の中に選ばれる
- 1971年 6月 西武百貨店宇都宮店が開店
- 1971年 10月 バンパ共同ビル「新うえの」開店、商調協の活動が活発化



陸軍宇都宮第14師団司令部
「絵葉書が映す下野の明治・大正・昭和 石井敬夫絵葉書コレクション」より



県商工経済会会頭任命の辞令



栃木会館ホールで開催した創立70周年記念式典



卸商業団地造成が決議された会員大会

- 1972年 3月 商業近代化地域計画「10年後の市商業ビジョン」を策定
 1971年 11月 労働保険事務組合を設立
 1972年 9月 宇都宮卸商業団地完成
 1972年 11月 東北自動車道（岩槻・宇都宮間）開通
 1973年 6月 創立80周年記念式典を開催
 1973年 10月 小企業等経営改善資金（マル経融資）制度の取扱開始
 1974年 3月 大規模小売店舗法施行（百貨店法廃止）
 1974年 3月 販売士検定試験制度発足
 1974年 3月 高橋栄作を第13代会頭に選任
 1975年 3月 宇都宮中央卸売市場完成
 1976年 8月 第1回ふるさと宮まつりの開催支援
 1977年 3月 宇都宮中央商店街連合会創立
 1978年 4月 宇都宮中央商店街連合会と共同で市営競輪場と中心部を結ぶ「お買い物無料バス」を1年間運行
 1978年 4月 連鎖倒産防止共済制度（現在の経営セーフティ共済）の取扱開始
 1978年 10月 日本商工会議所が商工会議所100周年記念式典・全国郷土祭を開催
 1978年 12月 救急救命センター設置のため栃木県から土地建物譲渡の依頼を受け、臨時議員総会で譲渡を決議
 1979年 3月 栃木県商工会館に所舎移転、建設予定の栃木県産業会館への入居を決定
 1979年 4月 宇都宮中央商店街連合会と共同で日曜・祝祭日の当所駐車場等を活用する「サンデーパーキング」を開始
 1980年 3月 荒牧春三郎を第14代会頭に選任
 1980年 6月 河合順之助を第15代会頭に選任
 1980年 8月 国鉄宇都宮駅（現JR宇都宮駅）の東西自由通路が完成
 1980年 9月 新国道4号開通
 1980年 10月 第35回国民体育大会（栃の葉国体）
 1981年 7月 栃木県産業会館落成に伴い所舎移転
 1982年 6月 東北新幹線（大宮・盛岡間）開業
 1982年 12月 青年部設立、初代部長に八城光男を選任（昭和57-60年度）
 1983年 10月 国鉄宇都宮駅（現JR宇都宮駅）西口のペDESTリアンデッキ完成
 1984年 4月 宇都宮商業近代化地域計画ローリング事業で中心市街地に必要な機能等を提言
 1985年 3月 東北新幹線上野駅乗り入れ開始
 1985年 4月 経営者育成異業種交流事業を実施
 1985年 4月 栃木県中央公園内に大谷石づくりの旧所舎玄関部分を復元
 1986年 4月 青年部第2代部長に小林丘を選任（昭和61-62年度）
 1986年 5月 大型間接税（売上税）反対宇都宮地区総決起大会を開催
 1988年 4月 青年部第3代部長に鈴木孝助を選任（昭和61-平成元年度）
 1989年 1月 市、観光協会と共同で「宇都宮コンベンションビューロー」を設立
 1989年 1月 部会を7部会から10部会に再編
 1989年 4月 宇都宮商業近代化フォローアップ事業で経済優先から回遊性のある街並みへの転換を提言
 1989年 4月 消費税導入（税率3%）
 1989年 4月 消費税相談室を開設、市内中小企業を対象に消費税導入状況を調査
 1989年 7月 藤井清を第16代会頭に選任
 1990年 4月 青年部第4代部長に青木直樹を選任（平成2-3年度）
 1990年 6月 女性部設立、初代会長に中村喜久美を選任
 1990年 4月 宇都宮市中心商店街連合会と共同で共通駐車券システムを開始
 1990年 8月 アジア初の世界選手権自転車競技会が宇都宮市で開催
 1990年 10月 ロビンソン百貨店宇都宮が開店
 1990年 12月 駅ビルパセオが開店



第1回ふるさと宮まつり



市営競輪場と中心部を結んだお買い物無料バス



宇都宮商工会議所青年部設立総会



宇都宮商工会議所女性部設立総会

- 1991年 5月 バブル崩壊
- 1992年 1月 改正大規模小売店舗法が施行
- 1992年 1月 **大規模小売店舗法の改正に伴い商調協を廃止**
- 1992年 4月 **青年部第5代部長に宮本隆昌を選任（平成4-5年度）**
- 1992年 10月 **青年部設立10周年記念式典を開催**
- 1993年 6月 商工会および商工会議所による小規模事業者の支援に関する法律が公布
- 1993年 7月 **宇都宮新名産統一ブランド名を「宇都宮雷都物語」に決定**
- 1993年 8月 **創立100周年記念祝賀会開催**
- 1993年 11月 **創立100周年記念式典開催**
- 1994年 4月 **青年部第6代部長に中島理を選任（平成6-7年度）**
- 1994年 10月 福田屋ショッピングプラザ宇都宮店が開店
- 1995年 1月 阪神・淡路大震災
- 1995年 3月 地下鉄サリン事件
- 1995年 7月 相生地区再開発事業で新ビル（後の宇都宮パルコ）工事始まる
- 1996年 4月 **青年部第7代会長に辻博明を選任（平成8-9年度）**
- 1996年 4月 市政100周年、宇都宮市が中核市に
- 1996年 4月 宇都宮環状線（宮環）全線開通
- 1996年 10月 **第1回「うつのみや薪能」「うつのみや流鏝馬」など開催**
- 1996年 10月 **二荒山神社ライトプラン（ライトアップ）開始（2年後から常設）**
- 1996年 11月 **第1回「宮の市」開催**
- 1997年 3月 宇都宮パルコが開店
- 1997年 4月 消費税が5%に引き上げ
- 1998年 2月 長野冬季オリンピックが開催
- 1998年 2月 **市内4ブロックに出向く「移動商工会議所」を開催**
- 1998年 4月 **青年部第8代会長に田嶋章夫を選任（平成10-13年度）**
- 1998年 6月 **女性部第2代会長に轟愛子を選任**
- 1998年 7月 中心市街地活性化法施行
- 1998年 10月 **おいしい餃子とふるさと情報館「来らっせ」を二荒山神社階段下にオープン**
- 1998年 11月 **築郁夫を第17代会頭に選任**
- 1999年 4月 とちぎテレビが開局
- 1999年 4月 栃木デスティネーションキャンペーン～やすらぎの栃木路～が開催
- 1999年 7月 経営革新計画承認制度開始
- 1999年 10月 **宇都宮まちづくり推進機構設立に協力**
- 1999年 11月 シンボルロードのライトアップ開始
- 1999年 11月 日光社寺が世界遺産に登録
- 2000年 4月 **宇都宮観光コンベンション協会設立に協力**
- 2000年 6月 大規模小売店舗立地法施行（大規模小売店舗法廃止）
- 2000年 9月 アピタ宇都宮店が開店
- 2000年 12月 上野百貨店が破産申請
- 2001年 2月 （協）宇都宮餃子会設立
- 2001年 6月 **女性部第3代会長に柿沼光子を選任**
- 2001年 7月 **都心循環スマイルバス実験運行を4か月間実施**
- 2001年 9月 **空き店舗対策事業として「チャレンジショップ」を開始**
- 2001年 9月 アメリカで同時多発テロ
- 2001年 10月 宇都宮信用金庫が破綻申請
- 2001年 12月 JR湘南新宿ライン直通運転開始
- 2002年 4月 **青年部第9代会長に佐藤栄一を選任（平成14-16年度）**
- 2002年 4月 **起業・創業者向け貸オフィス「インキュベーションスクエア」を下戸祭1丁目にオープン**
- 2002年 4月 循環バス「きぶな」運行開始



宇都宮雷都物語



うつのみや流鏝馬



宇都宮二荒山神社ライトアップ



おいしい餃子とふるさと情報館「来らっせ」

- 2002年 11月 メールマガジン「e-天地人」配信開始
- 2002年 12月 西武百貨店宇都宮店が閉店
- 2003年 3月 栃木県中小企業再生支援協議会を設置
- 2003年 4月 空き店舗補助金（中心商業地空き店舗出店促進助成事業）が開始
- 2003年 7月 うつのみや産学官連携推進ネットワーク発足
- 2003年 7月 FKDショッピングモールインターパーク店開店
- 2003年 9月 ロビンソン百貨店宇都宮店が閉店
- 2003年 11月 創立110周年記念式典開催
- 2003年 11月 「来らっせ」をラパーク長崎屋へ移転し（協）宇都宮餃子会へ完全移管
- 2003年 11月 足利銀行が一時国有化
- 2003年 12月 創立110周年記念「街活性化フォーラム」開催
- 2004年 2月 足利銀行の一時国有化について日本商工会議所山口信夫会頭が来所
- 2004年 4月 宇都宮屋台横丁が開業
- 2004年 6月 スーパー雷都物語が誕生
- 2004年 10月 複合商業施設「ベルモール」が開店
- 2004年 10月 全国商工会議所観光振興大会2004を宇都宮で開催
- 2005年 2月 宇都宮商工会議所ビジネスローンの取扱開始
- 2005年 3月 宇都宮競馬場が廃止
- 2005年 4月 エアクション21地域事務局に認定
- 2005年 4月 青年部第10代会長に上野勝弘を選任（平成17-19年度）
- 2005年 4月 ロビンソン百貨店跡地にララスクエア開店
- 2005年 5月 新産業創造戦略・サービス産業創出支援事業（ジャズの活用）を開始
- 2005年 6月 若年者地域連携事業を開始
- 2006年 3月 JR東日本と東武鉄道の「日光」「スペーシア日光」等運行開始
- 2006年 3月 商工会議所として全国初のエコアクション21を取得
- 2006年 4月 宇都宮おもてなしBOOKを発行
- 2006年 5月 会社法が施行、最低資本金制度が廃止
- 2006年 11月 オリオンスクエアが完成
- 2006年 11月 MIYA JAZZINN 2006開催（以降毎年開催）
- 2006年 11月 LRT敷設を見越した実験として「大通りにぎわいまつり」を開催
- 2007年 2月 宮のもの知り達人検定公式テキストブックを発行
- 2007年 3月 宇都宮商工会議所まつりを開催
- 2007年 3月 宇都宮城址公園が完成
- 2007年 3月 河内町、上河内町との合併で宇都宮市が北関東初の50万人都市に
- 2008年 4月 ミヤ・ジャズ推進協議会を設立し当所に事務局を置く
- 2007年 4月 うつのみやアグリネットワークが発足
- 2007年 5月 宇都宮市商店街連盟創立50周年
- 2007年 6月 再チャレンジ支援功労者表彰を受賞
- 2007年 8月 第1回宮のもの知り達人検定試験を実施
- 2008年 2月 青年部創立25周年
- 2008年 3月 第1期中期事業計画策定
- 2008年 4月 青年部第11代会長に木内裕祐を選任（平成20-21年度）
- 2008年 4月 栃木ブレックスがリンク栃木ブレックスに改称
- 2008年 4月 栃木県地域ジョブ・カードセンターを設置
- 2008年 9月 アメリカ投資銀行リーマンブラザーズが経営破綻（リーマン・ショック）
- 2008年 10月 地域情報ポータルサイト「うつのみやマップ」を開設
- 2008年 10月 自転車ロードレースチーム宇都宮ブリッツェンが結成
- 2008年 11月 女性部でお見合いパーティ「第1回ハート&ハートの集い」を開催
- 2009年 4月 宇都宮市中心市街地活性化協議会を設立
- 2009年 5月 県内有効求人倍率が0.5倍に割り込む
- 2009年 6月 女性部第4代会長に福田泰子を選任
- 2009年 8月 WEB天地人が公開、会報バックナンバーが閲覧可能に



創立110周年記念式典



全国商工会議所観光振興大会2004



MIYA JAZZINN2006



宇都宮のご当地検定
「宮のもの知り達人検定」

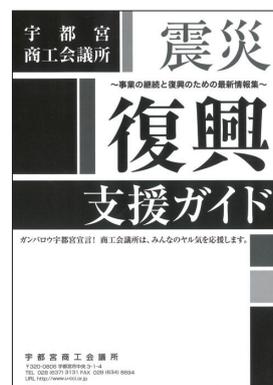
- 2009年 11月 オリオンスクエア前に宇都宮アンテナショップ「宮カフェ」をオープン
- 2009年 12月 中小企業金融円滑化法が施行
- 2010年 4月 リンク栃木ブレックスが日本バスケットボールリーグで初優勝
- 2010年 4月 青年部第12代会長に金柿説生を選任（平成22-23年度）
- 2010年 4月 青年部がリンク栃木ブレックス優勝パレードを開催
- 2010年 9月 渋沢栄一に学ぶ「渋沢資料館出張展示」を宇都宮で開催
- 2010年 9月 渋沢栄一に学ぶシンポジウムを開催
- 2010年 11月 北村光弘を第18代会頭に選任
- 2011年 2月 第2期中期事業計画を策定
- 2011年 3月 東日本大震災（東北地方太平洋沖地震）および福島第一原子力発電所事故が発生
- 2011年 3月 北関東自動車道が全線開通
- 2011年 3月 東日本大震災「特別相談窓口」等を設置
- 2011年 3月 東日本大震災「義援金」を募集
- 2011年 4月 「震災復興支援ガイドVer.1」を発行
- 2011年 4月 東日本大震災緊急調査結果を公表、4割が直接的な被害
- 2011年 4月 東日本大震災に関する緊急個別相談会を開催
- 2011年 6月 被災商工会議所へ当所職員を派遣
- 2011年 6月 「震災復興支援ガイドVer.2」を発行
- 2011年 10月 原子力損害賠償個別相談会を開催
- 2012年 4月 青年部第13代会長に伴靖を選任（平成24年度）
- 2012年 5月 不動産鑑定相談を開始
- 2012年 5月 東京スカイツリータウン開業、栃木県アンテナショップ「とちまるショップ」が開店
- 2012年 8月 スマホ版「うつのみやマップ」をリリース
- 2012年 12月 宇都宮・水戸・前橋商工会議所の共同企画「キタカンだより」が会報誌で掲載開始
- 2013年 1月 JR宇都宮駅東口地区整備の要望書提出
- 2013年 2月 青年部創立30周年記念式典・祝賀会を開催
- 2013年 2月 経営革新等支援機関に認定
- 2013年 3月 中小企業金融円滑化法が終了
- 2013年 3月 栃木県再生支援協議会内に「栃木県経営改善支援センター」設置
- 2013年 4月 消費税転嫁対策相談窓口を設置
- 2013年 4月 青年部第14代会長に児玉博利を選任（平成25-26年度）
- 2013年 6月 中小企業再生ファンド「(株)とちぎネットワークパートナーズ」設立
- 2013年 7月 創立120周年記念式典・祝賀会を開催
- 2014年 1月 栃木の地元の酒で乾杯を推進する条例が施行
- 2014年 1月 宇都宮餃子消費量が3年ぶり1位
- 2014年 2月 日本商工会議所青年部第33回全国大会「とちぎ宇都宮大会」を開催
- 2014年 2月 日本商工会議所三村明夫会頭が宇都宮アンテナショップ「宮カフェ」等を視察
- 2014年 3月 第3期中期事業計画を策定
- 2014年 4月 消費税が8%に引き上げ
- 2014年 5月 小規模事業者持続化補助金始まる
- 2014年 6月 小規模企業振興基本法が施行
- 2014年 7月 県内主要経済6団体等からなる「栃木県LRT研究会」を設立
- 2014年 9月 JR宇都宮駅東口地区整備事業において大規模商業施設導入の反対の要望書を市へ提出
- 2014年 9月 商工会および商工会議所による小規模事業者支援に関する法律が改正
- 2014年 11月 全国16番目となる栃木県事業引継ぎ支援センターを設置
- 2015年 3月 宮のもの知り達人検定試験をインターネット検定に移行
- 2015年 4月 青年部第15代会長に檜山昌彦を選任（平成27-28年度）



宇都宮アンテナショップ「宮カフェ」



青年部が開催したリンク栃木ブレックス優勝パレード



震災復興支援ガイド



日本商工会議所青年部第33回全国大会「とちぎ宇都宮大会」

- 2015年 4月 日本商工会議所青年部会長に当所青年部伴靖相談役が就任
- 2015年 6月 栃木県事業引継ぎ支援センターが「栃木県後継者バンク」を開始
- 2015年 6月 宇都宮市と共同で「宇都宮市プレミアム付商品券」を発行（総額18億円）
- 2015年 7月 LRT事業の営業主体設立等に関する要望書を市議会3会派に提出
- 2015年 9月 平成27年台風第18号で宇都宮市にも被害
- 2015年10月 マイナンバー制度が開始
- 2015年11月 第1回新商品・新サービス合同プレス発表会を開催
- 2015年12月 女性部創立25周年記念式典・記念講演会を開催
- 2016年 2月 得する街のゼミナール「第1回宇都宮まちゼミ」を開催
- 2016年 4月 熊本地震が発生
- 2016年 4月 経営発達支援計画が初認定
- 2016年 5月 熊本地震義援金を日本商工会議所と共同で募集
- 2016年 5月 「宇都宮市プレミアム付商品券」の消費喚起効果の試算額が約6億8千万円と発表
- 2016年 5月 全国餃子サミットが宇都宮で開催
- 2016年 5月 (協)宇都宮餃子会等と共同で「全国餃子祭り」を宇都宮城址公園および市役所東駐車場等で開催
- 2016年10月 札幌商工会議所110周年記念「新幹線沿線のまちフェア」へ出店協力
- 2017年 3月 宇都宮コミュニティFM「ミヤラジ」開局
- 2017年 3月 自転車ロードレース「第1回ソール・ド・とちぎ」が栃木県内18市町を舞台に開催
- 2017年 3月 第4期中期事業計画を策定
- 2017年 3月 (協)宇都宮餃子会等と共同で餃子開業インターンシップを実施
- 2017年 4月 青年部第16代会長に坂本英典を選任（平成29-30年度）
- 2017年 5月 栃木県LRT研究会が「LRTの導入、整備に関する研究報告書」を宇都宮市長、芳賀市長等に提出
- 2017年 5月 宇都宮市商店街連盟創立60周年記念講演会・祝賀会を開催
- 2017年 6月 リンク栃木ブレックスがbリーグ初代王者に
- 2017年 6月 青年部がリンク栃木ブレックスのBリーグ初代王者記念優勝パレードを開催
- 2017年 6月 関口快流を第19代会頭に選任
- 2017年 8月 宇都宮地域総創生ムービー2.0の推進する会を設立、関口会頭が会長に就任
- 2017年 8月 宇都宮地域総創生ムービー2.0「キスできる餃子」のクランクインパーティーを開催
- 2017年12月 当所金融部会が高校生を対象とした「職場見学会」を初開催
- 2017年 2月 栃木サッカークラブがJ2に昇格
- 2018年 1月 唐津商工会議所宮島清一会頭が当所を表敬訪問
- 2018年 4月 民間企業の障害者法定雇用率が2%から2.2%に引き上げ
- 2018年 4月 栃木デスティネーションキャンペーン「本物の出会い栃木」が開催
- 2018年 4月 女性部がJR宇都宮駅・東武宇都宮駅を折り紙で装飾
- 2018年 4月 横浜赤レンガ倉庫イベント広場で開催された「宇都宮餃子祭りin YOKOHAMA」に協賛出店
- 2018年 5月 大谷石文化が日本遺産に認定
- 2018年 5月 LRT工事が起工
- 2018年 6月 働き方改革関連法案が成立
- 2018年 3月 ミヤ・ジャズ推進協議会からミヤ・ジャズ実行委員会にMIYA JAZZINNを移管
- 2019年 1月 日商プログラミング検定が開始
- 2019年 3月 増淵正二を第20代会頭に選任
- 2019年 4月 青年部第17代会長に神宮祥臣を選任（令和元年度）



第1回新商品・新サービス合同プレス発表会



全国餃子祭りinうつのみや



映画「キスできる餃子」クランクインパーティー



宇都宮餃子祭りinYOKOHAMAに協賛出店

令和時代

- 2019年 5月 大嘗祭悠紀地方の斎田に栃木県が選定
- 2019年 5月 宇都宮パルコ閉店
- 2019年 7月 リンク栃木プレックスが宇都宮プレックスに改称
- 2019年 10月 消費税率が10%に引き上げに併せ消費税軽減税率制度が導入
- 2019年 10月 令和元年台風19号の豪雨で田川や姿川が氾濫し、被害甚大
- 2019年 10月 **台風19号による災害に関する特別相談窓口を設置**
- 2019年 10月 栃木県商工会議所連合会が県知事に産業インフラなどの早期復旧等を緊急要望
- 2019年 11月 **藤井昌一を第21代会頭に選任**
- 2019年 12月 **高崎、前橋、水戸商工会議所と共同で東武百貨店池袋店「ご当地ぐるめ祭」に出店**
- 2020年 1月 新型コロナウイルス感染者が国内で初確認
- 2020年 1月 イギリスがEU（欧州連合）から離脱
- 2020年 1月 ララスクエア宇都宮閉店
- 2020年 2月 ララスクエア宇都宮跡地にトナリエ宇都宮が開店
- 2020年 2月 新型コロナウイルス感染者が栃木県で初確認
- 2020年 3月 WHOがパンデミックを表明
- 2020年 3月 **新型コロナウイルス緊急実態調査を実施・公表**
- 2020年 3月 東京オリンピック開催延期が決定
- 2020年 3月 **第5期中期事業計画を策定**
- 2020年 4月 **新型コロナウイルス対策マル経の取扱開始**
- 2020年 4月 **青年部第18代会長に梅田賢一を選任（令和2-3年度）**
- 2020年 4月 改正民法が施行
- 2020年 4月 新型コロナウイルスの国内感染者が1万人を突破
- 2020年 4月 全国に緊急事態宣言が発出される
- 2020年 4月 **新型コロナウイルス感染症支援ガイドブックVol.1を作成・配布**
- 2020年 5月 **新型コロナウイルス感染症支援ガイドブックVol.2を作成・配布**
- 2020年 5月 タクシー事業者の営業収入が5月上旬で昨対比7割減少
- 2020年 5月 **第2回新型コロナウイルス緊急実態調査結果を公表、4割の事業者が売上半減**
- 2020年 5月 **青年部がプレミアム付商品券を発行**
- 2020年 5月 **第45回ふるさと宮まつりが開催中止が決定**
- 2020年 5月 緊急事態宣言が全面解除
- 2020年 6月 **新型コロナウイルス感染防止のため6月、7月施行予定の検定試験を全て中止**
- 2020年 6月 **宇都宮市と共同で飲食業支援のための「宮の食ベトクチケットプレミアム付飲食券」（総額54億円）を発行**
- 2020年 6月 **通常議員総会で新型コロナウイルス感染症緊急対策事業費の補正予算が成立**
- 2020年 6月 **女性部第5代会長に今井キヨを選任**
- 2020年 6月 **タクシー初乗運賃支援事業を実施**
- 2020年 6月 「ジャパンカップサイクルロードレース」と「FIBA3x3ワールドツアー宇都宮マスタース」中止が決定
- 2020年 7月 **宇都宮餃子の配送料支援事業を実施**
- 2020年 7月 栃木県総合運動公園陸上競技場（カンセキスタジアムとちぎ）完成
- 2020年 9月 **中小企業相談所の相談窓口強化のため、外部専門家を専門相談員として配置（非常勤）**
- 2020年 9月 宇都宮餃子祭り2020の中止が決定
- 2020年 10月 オリオンスクエアが全天候型にリニューアルオープン
- 2020年 11月 **宮の市（商業祭）を中止、代替事業として黄ぶな大明神建立等を実施**
- 2020年 11月 **宇都宮餃子の配送料支援事業第2弾を開催**
- 2021年 1月 **宇都宮市ビジネスPCR等検査支援事業に協力**



令和元年台風第19号で田川が氾濫した



北関東4都市で東武百貨店池袋店「ご当地ぐるめ祭」に出店



この度は「宇都宮餃子」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
緊急事態宣言発令後、タクシー事業者の営業収入が5月上旬で昨対比7割減少、4割の事業者が売上半減と見込まれています。また、新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、検定試験も中止されています。

緊急事態宣言発令後、タクシー事業者の営業収入が5月上旬で昨対比7割減少、4割の事業者が売上半減と見込まれています。また、新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、検定試験も中止されています。

緊急事態宣言発令後、タクシー事業者の営業収入が5月上旬で昨対比7割減少、4割の事業者が売上半減と見込まれています。また、新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、検定試験も中止されています。

タクシーを利用して お買い物に行こう!

タクシー事業者と連携し、消費者が安心してタクシーを利用できるように取り組んでいます。

初乗運賃 740円 ・ 買物代行 740円

令和2年(2020年) 6月15日(月)~8月31日(月)

①(株)栃木県タクシー協会 026-658-2411
②宇都宮商工会議所 総務課 026-657-3131

緊急コロナ対策事業として実施した
タクシー初乗運賃支援事業と
宇都宮餃子配送料支援事業キャンペーン



表参道スクエアに建立した黄ぶな大明神

- 2021年 1月 宇都宮市が飲食店の営業時間短縮を要請
- 2021年 1月 横須賀商工会議所が運営するインターネットギフト専門店「おもてなしギフトショップ」と提携
- 2021年 1月 緊急事態宣言の対象地域に栃木県が追加
- 2021年 2月 LRTの愛称が「ライトライン」に決定
- 2021年 2月 栃木県の緊急事態宣言が解除
- 2021年 2月 全国で新型コロナウイルスワクチン接種が始まる
- 2021年 3月 会員企業からの情報を受け付ける「WEB版会員情報局」がスタート
- 2021年 3月 地域交通系ICカード「totra(トトラ)」が発売開始
- 2021年 4月 栃木県事業引継ぎ支援センターが「栃木県事業承継・引継ぎ支援センター」に改称
- 2021年 4月 東京商工会議所の「オンライン研修講座」と提携
- 2021年 6月 女性部創立30周年を迎える
- 2021年 7月 宇都宮グランドホテルが閉館
- 2021年 8月 市内ホテル旅館で使用できるプレミアム付チケットを販売
- 2021年 8月 東京オリンピック2020開催
- 2021年 8月 緊急事態宣言の対象地域に栃木県が追加
- 2021年 8月 JR宇都宮駅ペDESTリアンデッキ西側に「いちご一会とちぎ国体・大会」広報用看板を市へ寄贈
- 2021年 8月 対面接客業種への緊急実態調査結果を公表、8割が売上悪化
- 2021年 9月 第46回ふるさと宮まつり中止
- 2021年 9月 商業施設「ベルテラシェ大谷」が開店
- 2021年 9月 栃木県の緊急事態宣言が解除
- 2021年 10月 とちぎSDGs推進企業に登録
- 2021年 11月 事業継続力強化支援計画の認定を受ける
- 2021年 11月 宮の市(商業祭)中止、代替事業として「黄ぶな開運オンライン抽選会」等を実施
- 2021年 11月 宇都宮餃子祭り2021が中止
- 2022年 2月 ロシアによるウクライナ侵攻が始まる
- 2022年 3月 宇都宮アンテナショップ「宮カフェ」を閉店
- 2022年 4月 栃木県中小企業再生支援協議会を「栃木県中小企業活性化協議会」へ改組
- 2022年 4月 青年部第19代会長に細川典男を選任(令和4年度)
- 2022年 6月 日本商工会議所創立100周年
- 2022年 7月 タクシー初乗運賃支援事業第2弾を実施
- 2022年 8月 事業系食品ロス削減対策事業をホテルニューイタヤと共同で実施
- 2022年 8月 商業施設「ウツノミヤテラス」がJR宇都宮駅東口地区に開店
- 2022年 8月 第47回ふるさと宮まつり中止が決定
- 2022年 9月 日本商工会議所創立100周年記念式典で当所が特別表彰を授与
- 2022年 10月 いちご一会とちぎ国体・大会が開幕
- 2022年 10月 1ドル=150円台まで円安が進む
- 2022年 11月 宮みらいライトヒルの供用開始
- 2022年 11月 宮の市(商業祭)と宇都宮餃子祭りが3年ぶりに開催
- 2022年 11月 JR宇都宮駅東口地区まちびらき記念式典が開催、コンベンション施設「ライトキューブ宇都宮」の供用開始
- 2023年 1月 青年部創立40周年記念式典を開催
- 2023年 2月 円安による原材料費高騰等の影響調査結果を公表、8割が経営悪化
- 2023年 3月 第6期中期事業計画を策定
- 2023年 4月 青年部第20代会長に阿部裕介を選任
- 2023年 5月 新型コロナウイルス感染症の法律上の位置付けを「5類」に引き下げ
- 2023年 5月 第75回全国商工会議所専務理事・事務局長会議をライトキューブ宇都宮で開催
- 2023年 8月 第47回ふるさと宮まつりが4年ぶりに開催



栃木県事業承継・引継ぎ支援センターとして再スタート



プレミアム率50%のホテル・旅館施設利用プレミアム付チケット



ペDESTリアンデッキに設置したいちご一会とちぎ国体・大会協賛看板



ライトキューブ宇都宮で開催された第75回全国商工会議所専務理事・事務局長会議

歴代会頭



初代・第4代
上野 松次郎
(上野松次郎商店)

〈第1期〉
明治27年2月～明治28年9月
〈第3期～第11期〉
明治30年9月～大正3年6月



第2代
篠崎 安平
(篠崎材木店)

〈第2期〉
明治28年9月～明治30年3月



第3代・第5代
田中 勝次郎
(田中勝次郎商店)

〈第2期〉
明治30年3月～明治30年9月
〈第11期～第15期〉
大正3年7月～昭和4年4月



第6代
福田 富次郎
(富貴堂)

〈第16期〉
昭和4年4月～昭和6年1月



第7代
上野 松次郎(順一)
(下野貯蓄銀行)

〈第16期～第18期〉
昭和6年1月～昭和16年3月



第8代
横倉 正吉
(横倉商店)

〈第19期〉
昭和16年4月～昭和18年9月



第9代
小平 重吉
(関東自動車株)

〈第20期〉
昭和21年11月～昭和22年4月



第10代
玉木 栄吉
(玉木薬局)

〈第20期～第23期〉
昭和22年5月～昭和29年5月



第11代
上野 小七
(上野呉服店)

〈第24期～第26期〉
昭和29年5月～昭和36年6月



第12代
坂保 正七
(関東自動車株)

〈第27期～第31期〉
昭和36年6月～昭和49年6月



第13代
高橋 栄作
(宇都宮青果市場)

〈第32期～第33期〉
昭和49年6月～昭和55年3月



第14代
荒牧 春三郎
(宇都宮市商店街連盟)

〈第33期〉
昭和55年3月～昭和55年6月



第15代
河合 順之助
(宇都宮信用金庫)

〈第34期～第36期〉
昭和55年6月～平成元年6月



第16代
藤井 清
(藤井産業株)

〈第37期～第39期〉
平成元年7月～平成10年10月



第17代
築 郁夫
(株福田百貨店)

〈第40期～第43期〉
平成10年11月～平成22年10月



第18代
北村 光弘
(株横倉本店)

〈第44期～第46期〉
平成22年11月～平成29年6月



第19代
関口 快流
(株関口)

〈第46期〉
平成29年6月～平成31年1月(※)



第20代
増淵 正二
(フタバ食品株)

〈第46期〉
平成31年3月～令和元年10月



第21代
藤井 昌一
(藤井産業株)

〈第47期～〉
令和元年11月～

※平成31年1月～平成31年3月の
期間は増淵正二副会頭が会頭職務
を執行

役員・議員

氏名	事業所名	役職名	号	所属部会
会 頭				
藤井 昌一	藤井産業(株)	代表取締役社長	3号	商業卸
副 会 頭				
喜谷 辰夫	トヨタカローラ栃木(株)	代表取締役社長	3号	交通運輸
清水 和幸	(株)足利銀行	代表取締役頭取	3号	金融
齋藤 貞大	フタバ食品(株)	代表取締役社長	3号	食品工業
戸塚 正一郎	(株)SUBARU	常務執行役員 航空宇宙カンパニー プレジデント兼宇都宮製作所長	3号	金属工業
専務理事				
野原 正祥	宇都宮商工会議所	専務理事	—	—
常務理事				
小関 裕之	宇都宮商工会議所	常務理事	—	—
理 事				
手塚 忠之	宇都宮商工会議所	理事兼事務局長	—	—
監 事				
八城 光男	五十二電気工事(株)	代表取締役	2号	建設
長谷川 正	宇都宮市商店街連盟	副会長	2号	商業小売
川村 壽文	川村公認会計士事務所	所長	1号	情報・サービス
常 議 員				
須賀 英之	学校法人須賀学園	理事長	3号	情報・サービス
齋藤 高藏	齋藤商事(株)	代表取締役社長	3号	商業小売
角 一幸	(株)TKC	相談役	3号	情報・サービス
福田 宏一	(株)福田屋百貨店	代表取締役社長	3号	商業小売
横倉 正一	(株)横倉本店	代表取締役社長	3号	商業卸
青木 靖典	北関東総合警備保障(株)	代表取締役社長	3号	情報・サービス
金子 保	レオン自動機(株)	取締役常務執行役員	3号	金属工業
石川 均	トヨタウッドユーホーム(株)	代表取締役社長	3号	建設
川崎 健郎	野村證券(株)宇都宮支店	支店長	3号	金融
関口 快太郎	(株)関口	代表取締役社長	3号	商業卸
下山 孝治	とちぎんTT証券(株)	代表取締役社長	3号	金融
富川 善守	(株)栃木銀行	常務取締役	3号	金融
上田 哲也	環境整備(株)	代表取締役	3号	情報・サービス
星 佳成	(株)東武宇都宮百貨店	代表取締役社長	3号	商業小売
横山 稔	東日本電信電話(株)	栃木支店長	3号	情報・サービス
松本 典文	北関東産業(株)	代表取締役	2号	情報・サービス
若月 章男	鈴運メンテック(株)	代表取締役会長	2号	情報・サービス
赤塚 博実	(株)カネマス	取締役会長	2号	商業卸
辻 由兵衛	(株)辻由	取締役会長	2号	商業卸
飯村 慎一	光陽エンジニアリング(株)	代表取締役会長	2号	建設
仲田 俊夫	仲田総業(株)	代表取締役会長	2号	情報・サービス
阿久津 平	(株)オータニ	取締役会長	2号	商業小売
谷田部 峻	谷田部石材販売(株)	取締役会長	2号	一般工業
酒井 誠	(株)酒井建築設計事務所	代表取締役社長	2号	建設
深澤 雄一	(株)フカサワ	取締役会長	2号	商業卸
加納 孝文	(株)ミツトヨ	取締役常務執行役員 宇都宮統括部長	2号	金属工業
小堀 俊明	第一測工(株)	代表取締役社長	2号	建設
新井 孝則	栃木トヨタ自動車(株)	代表取締役社長	2号	交通運輸
船田 雅弘	コクヨ北関東販売(株)	代表取締役社長	2号	商業卸
村上 龍也	(株)村上	代表取締役	2号	環境衛生
若井 平光	(株)かましん	取締役副社長	2号	商業小売

氏名	事業所名	役職名	号	所属部会
金沢 基竜	(株)南大門ホールディングス	専務取締役	2号	情報・サービス
菊池三紀男	(一社)宇都宮建設業協会	会長	2号	建設
渡辺 英治	(株)みずほ銀行宇都宮支店	支店長	2号	金融
木内 裕祐	(株)五光	代表取締役	2号	情報・サービス
宮崎 和典	協新電工(株)	代表取締役	2号	建設
石見 多恵	(株)プリオウエディングスT&S	取締役社長	2号	情報・サービス
渡邊 有規	(株)渡辺有規建築企画事務所	代表取締役	2号	建設
松田 雅博	アクサ生命保険(株)宇都宮支社	支社長	2号	金融
増山 郁夫	ランスタッド(株)	専務執行役員	1号	情報・サービス
里村 佳行	(株)ビッグツリー	代表取締役社長	1号	情報・サービス
瓦井 成	光機材(株)	代表取締役社長	1号	商業卸
生出 栄	栃木信用金庫宇都宮営業部	顧問	1号	金融
青木 敬信	青源味噌(株)	代表取締役社長	1号	食品工業
村上 貴士	日東石油(株)	代表取締役	1号	商業小売
議 員				
大田垣 一郎	(株)カンセキ	代表取締役社長	3号	商業小売
吉田 元	関東自動車(株)	代表取締役社長	2号	交通運輸
天野 泰仁	日本通運(株)宇都宮支店	支店長	2号	交通運輸
柴田 道夫	柴田建設(株)	代表取締役	2号	建設
福田 治久	(株)丸治	専務取締役	2号	環境衛生
鈴木 直人	(株)スズテック	代表取締役	2号	金属工業
藤間 勉	宇都宮ステーション開発(株)	代表取締役社長	2号	商業小売
菊池 俊也	(株)菊地組	取締役	2号	建設
仲代 順哉	(株)ケイエムシー	代表取締役社長	2号	情報・サービス
東 光法	元気寿司(株)	代表取締役専務執行役員	2号	環境衛生
森野 良幸	(株)キガ	代表取締役社長	2号	情報・サービス
氏家 大介	東京ガスネットワーク(株)栃木支社	支社長	2号	情報・サービス
秋本 薫	(株)アキモ	代表取締役社長	2号	食品工業
鈴木 章弘	協同組合宇都宮餃子会	専務理事兼事務局長	2号	環境衛生
田中 久貴	(株)関電工 北関東・北信越営業本部 栃木支店	執行役員 栃木支店長	2号	建設
伊原 修	(株)大高商事	代表取締役	2号	情報・サービス
平 典子	(株)たいらや	代表取締役社長	2号	商業小売
岡崎 善胤	(株)不二ドライ	代表取締役社長	2号	環境衛生
和氣 康匡	(有)高林堂	代表取締役	2号	商業小売
児玉 博利	税理士法人児玉税経	代表社員	2号	情報・サービス
佐藤 千秋	サトーカメラ(株)	代表取締役社長	2号	商業小売
井上 加容子	(株)井上総合印刷	代表取締役社長	2号	一般工業
五十畑 嘉	関東インフォメーションマイクロ(株)	代表取締役	2号	情報・サービス
伊藤 太郎	(株)みんな	代表取締役	2号	環境衛生
田野邊 大介	東一宇都宮青果(株)	代表取締役社長	1号	商業卸
青木 克介	(株)アオショー	代表取締役	1号	商業卸
田嶋 宏章	(株)ホテルニューイタヤ	代表取締役専務	1号	環境衛生
保坂 正裕	ブリヂストンタイヤ栃木販売(株)	代表取締役社長	1号	交通運輸
坂井 俊司	(有)春日屋商店	代表取締役	1号	商業小売
荒井 学	宇都宮土建工業(株)	代表取締役	1号	建設
島田 訓明	関東信越税理士会宇都宮支部	支部長	1号	情報・サービス
笠原 正人	アサヒタクシー(株)	代表取締役	1号	交通運輸
檜山 昌彦	(株)うさぎや商店	代表取締役	1号	商業小売
中島 崇	ミュキ建設(株)	代表取締役社長	1号	建設
片岡 泰三	(株)アトムエンジニアリング	代表取締役会長	1号	情報・サービス
長島 俊夫	宇都宮オリオン通り商店街振興組合	理事長	1号	商業小売

氏名	事業所名	役職名	号	所属部会
岡安 規男	関東総合開発(株)	代表取締役	1号	情報・サービス
篠崎 務	(株)シノザキ	代表取締役	1号	商業卸
佐藤 靖	パスキン工業(株)	代表取締役	1号	一般工業
菊池 隆浩	富士通Japan(株)	北関東エンタープライズビジネス部長	1号	情報・サービス
菊池 祥一	山本建設(株)	代表取締役社長	1号	建設
毛利 正彦	宇都宮二荒山神社	権宮司・総務部長	1号	情報・サービス
吉村 敦史	(株)三洋製作所	代表取締役社長	1号	金属工業
上野 勝弘	上陽工業(株)	代表取締役	1号	建設
柳田 茂雄	日本郵便(株)宇都宮中央郵便局	局長	1号	情報・サービス
安在 裕志	村田発條(株)	会長	1号	金属工業
横松 宏明	(株)横松建築設計事務所	代表取締役	1号	建設
横山 幸子	横山法律事務所	所長	1号	情報・サービス
安藤 崇之	(株)安藤設計	常務取締役	1号	建設
高久 和男	イートランド(株)	代表取締役	1号	食品工業
佐藤 忠雄	興新特殊鋼(株)	取締役会長	1号	商業卸
高山 實	(株)太陽警備保障	代表取締役	1号	情報・サービス
佐畑 浩司	東都工業(株)	代表取締役社長	1号	金属工業
黒川 知祐	(株)日工社栃木事業本部	代表取締役社長	1号	金属工業
星野 隆一	富士興産(株)	代表取締役	1号	情報・サービス
町田 卓大	(株)町田建塗工業	代表取締役	1号	建設
善林 隆充	(株)マルゼン	代表取締役社長	1号	商業卸
矢治 和之	(株)ロココ企画装飾	代表取締役	1号	情報・サービス
金柿 説生	(有)石川印刷所	代表取締役	1号	一般工業
保坂 和夫	関東交通(株)	代表取締役社長	1号	交通運輸
坂本 昭一	(株)新光社	代表取締役会長	1号	一般工業
伴 靖	(株)総合印刷	代表取締役	1号	一般工業
安齋 幸	トランセンス(株)	代表取締役	1号	建設
金田 秀壽	(株)ニッカネ	代表取締役会長	1号	商業卸
石川 秋十	報徳流通システム(株)	代表取締役社長	1号	情報・サービス
小矢島重男	宮ビルサービス(株)	代表取締役	1号	情報・サービス
池田 勇介	(株)アイ・シー・エス	代表取締役会長	1号	情報・サービス
大矢 裕啓	大矢商事(株)	代表取締役	1号	商業卸
黒崎 英典	(株)クロサキ	代表取締役	1号	商業卸
崎尾 肇	(株)コアミ計測機	代表取締役	1号	商業卸
松本 謙	(株)ファーマーズ・フォレスト	代表取締役	1号	情報・サービス
小川 恒夫	(株)ユーユーワールド	代表取締役会長	1号	交通運輸
岩村 隆之	岩村建設(株)	取締役会長	1号	建設
小花 伸子	小花塗装(株)	代表取締役	1号	建設
卯木 伸男	(有)随想舎	取締役社長	1号	一般工業
山田 義治	(株)スキット	監査役	1号	情報・サービス
竹川 哲夫	(株)タケカワ	代表取締役社長	1号	商業小売
橋本 大輔	(株)栃木サッカークラブ	代表取締役社長	1号	情報・サービス
本澤 崇	(株)本澤建築設計事務所	代表取締役	1号	建設
今井 キヨ	(株)松本	取締役副社長	1号	建設
田嶋久登志	(有)ララ・ドリーム	代表取締役	1号	環境衛生
高橋 裕樹	高橋税務会計事務所	代表	1号	情報・サービス
高橋 学	東京海上日動火災保険(株)栃木支店	執行役員 栃木支店長	1号	金融
吉川 泰行	日建工業(株)	代表取締役	1号	建設
鈴木 一矢	(株)ベルモール	代表取締役副社長	1号	情報・サービス
毛塚 武久	明電産業(株)	代表取締役社長	1号	商業卸
落合 幹之	(株)ヨコセ	代表取締役社長	1号	一般工業

(敬称略) 令和5(2023)年7月1日現在

部会

商業小売部会	部会長	斎藤 高藏 (斎藤商事株)
	副部会長	阿久津 平 (株オータニ)
		福田 宏一 (株福田屋百貨店) 星 佳成 (株東武宇都宮百貨店)
商業卸部会	部会長	辻 由兵衛 (株辻由)
	副部会長	深澤 雄一 (株フカサワ) 田野邊 大介 (東一宇都宮青果株)
		篠崎 務 (株シノザキ)
金属工業部会	部会長	金子 保 (レオン自動機株)
	副部会長	加納 孝文 (株ミツトヨ) 吉村 敦史 (株三洋製作所)
		鈴木 直人 (株スステック)
一般工業部会	部会長	金柿 説生 (有石川印刷所)
	副部会長	佐藤 靖 (バスキン工業株) 落合 幹之 (株ヨコセ)
		秋本 薫 (株アキモ)
食品工業部会	部会長	高久 和男 (イトランド株)
	副部会長	青木 敬信 (青源味噌株)
		青木 敬信 (青源味噌株)
建設部会	部会長	菊池 三紀男 ((一社)宇都宮建設業協会)
	副部会長	八城 光男 (五十二電気工事株) 横松 宏明 (株横松建築設計事務所)
		柴田 道夫 (柴田建設株)
金融部会	部会長	富川 善守 (株栃木銀行)
	副部会長	松田 雅博 (アクサ生命保険株宇都宮支社) 川崎 健郎 (野村證券株宇都宮支店)
		渡辺 英治 (株みずほ銀行宇都宮支店)
交通運輸部会	部会長	新井 孝則 (栃木トヨタ自動車株)
	副部会長	天野 泰仁 (日本通運株宇都宮支店) 吉田 元 (関東自動車株)
		村上 龍也 (株村上)
環境衛生部会	部会長	村上 龍也 (株村上)
	副部会長	岡崎 善胤 (株不二ドライ) 福田 治久 (株丸治)
		里村 佳行 (株ビッグツリー)
情報・サービス部会	部会長	里村 佳行 (株ビッグツリー)
	副部会長	片岡 泰三 (株アトムエンジニアリング) 仲田 俊夫 (仲田総業株)
		木内 裕祐 (株五光)

(敬称略) 令和5(2023)年7月1日現在

委員会

総務企画委員会	委員長	若月 章男 (鈴運メンテック株)
	副委員長	新井 孝則 (栃木トヨタ自動車株)
企業経営委員会	委員長	船田 雅弘 (コクヨ北関東販売株)
	副委員長	崎尾 肇 (株コアミ計測機)
産業振興委員会	委員長	増山 郁夫 (ランスタッド株)
	副委員長	大矢 裕啓 (大矢商事株)
まちづくり委員会	委員長	木内 裕祐 (株五光)
	副委員長	星 佳成 (株東武宇都宮百貨店)
地域活性化委員会	委員長	深澤 雄一 (株フカサワ)
	副委員長	横倉 正一 (株横倉本店)
環境・福祉委員会	委員長	檜山 昌彦 (株うさぎや商店)
	副委員長	上田 哲也 (環境整備株)

(敬称略) 令和5(2023)年7月1日現在

青年部 歴代部長会長

初代部長	八城 光男 (五十二電気工事株)
第2代部長	小林 丘 (株小林李三郎商店)
第3代部長	鈴木 孝助 (株力ネサン)
第4代部長	青木 直樹 (青源味噌株)
第5代部長	宮本 隆昌 (株宮本印刷)
第6代部長	中島 理 (ミユキ建設株)
第7代会長	辻 博明 (株浄邦堂)
第8代会長	田嶋 章夫 (株ホテルニューイタヤ)
第9代会長	佐藤 栄一 (北関東観光開発株)
第10代会長	上野 勝弘 (上陽工業株)
第11代会長	木内 裕祐 (株五光宇都宮店)
第12代会長	金柿 説生 (有石川印刷所)
第13代会長	伴 靖 (伴印刷株)
第14代会長	児玉 博利 (税理士法人児玉税経)
第15代会長	檜山 昌彦 (株うさぎや商店)
第16代会長	坂本 英典 (株さかもと)
第17代会長	神宮 祥臣 (株メディカルコミュニケーションズ)
第18代会長	梅田 賢一 (株コウケイ工業)
第19代会長	細川 典男 (株アイ・レック)
第20代会長	阿部 裕介 (阿部総合建築有)

女性部 歴代会長

初代会長	中村喜久美 (株陽南荘宇都宮グランドホテル)
第2代会長	轟 愛子 (日豊工業株)
第3代会長	柿沼 光子 (株雅河)
第4代会長	福田 泰子 (株丸治)
第5代会長	今井 キヨ (株松本)

■ 商工会議所のロゴマーク



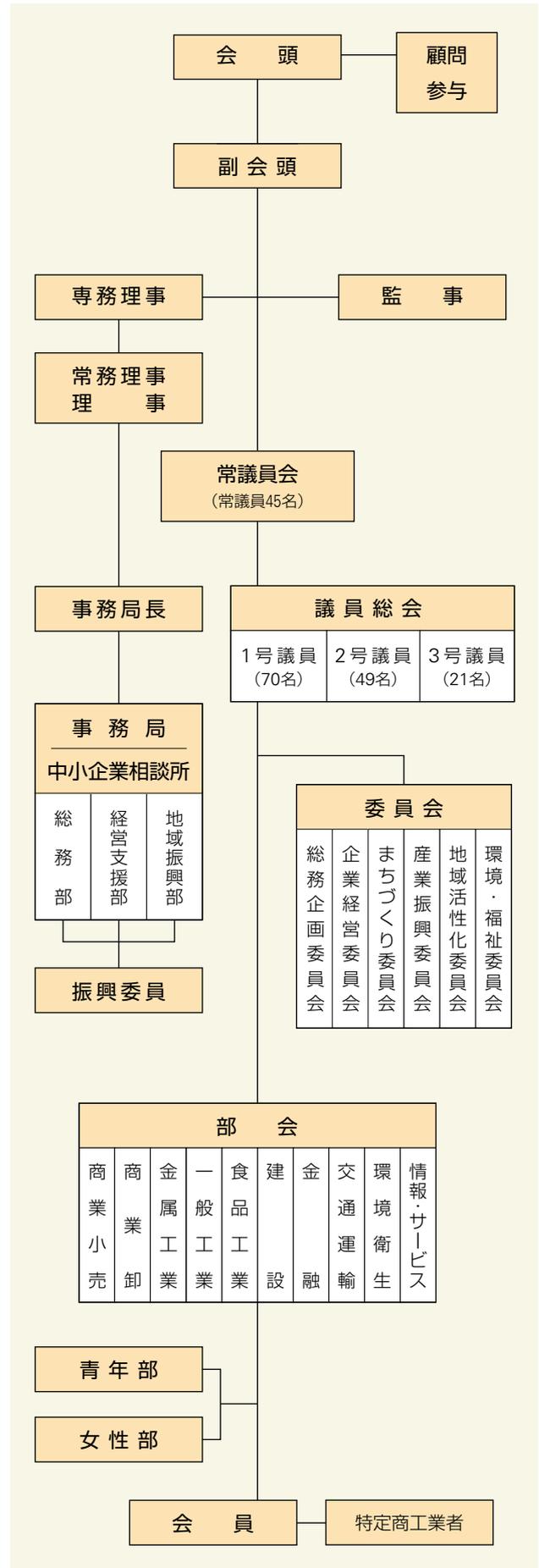
商工会議所のマークは、英語名「Chamber of Commerce and Industry」の頭文字CCIを図案化したもので、そこに、Japan(日本)の頭文字であるJを含ませ、おおどりが翼を拡げて大空を飛ぶ様子を表現しています。

すなわち日本商工会議所が世界に飛躍していることを示し、全国各地の商工会議所はこのマークで統一されています。

常勤役員および事務局職員

専務理事			野原 正祥
常務理事			小関 裕之
理事			手塚 忠之
事務局長(兼)			手塚 忠之
中小企業相談所長			野沢 恭久
総務部	部長 次長	主幹	長谷 眞
		特任参事	鈴木 毅
		主幹	熊木 清美
		副主幹	久田 大
		主査	鈴木 千穂
		主任主事	岡崎 慧
		主任主事	郷 真吾
		主事	斎藤 那菜
		主事	杵保 篤司
		指導主任	鷹木 一高
			<small>((一社) 栃木県商工会議所連合会から出向)</small>
		主任	阿部 訓久
			<small>((一社) 栃木県商工会議所連合会へ出向)</small>
	経営支援部	部長 次長代理	主幹
副主幹			平山 英明
		副主幹	川村 成仁
		主任主事	神長 将大
		主任主事	佐川 拓也
		主事	小泉空見子
		主事	根本 公樹
		主事	大湾 政哉
		主事	塚田 康樹
地域振興部		部長(兼) 次長	副参事
	主幹		松本 泰宏
		主幹	濱崎 常明
	次長代理	副主幹	本澤 尚子
		副主幹	高野 仁美
		主任主事	田中 飛鳥
		主事	吉川 早紀
		主事	長岡 倫太郎
			<small>((一社) 宇都宮観光コンベンション協会へ出向)</small>
		主事	目崎 有生
		主事	木村 晴香
	主事	柴田 航希	
	主任	清嶋 眞智子	
		<small>((特非) 宇都宮まちづくり推進機構へ出向)</small>	
		山口 貴史	

組織図



(令和5(2023)年7月1日現在)

(令和5(2023)年7月1日現在)

栃木県と宇都宮市の概要

栃木県

県制施行	明治6(1873)年6月14日
知事	福田富一
面積	6,408.09 km ²
人口	1,898,513人
世帯数	811,136世帯

(令和5(2023)年4月1日現在)

宇都宮市

市制施行	明治29(1896)年4月1日
市長	佐藤栄一
面積	416.85 km ²
人口	513,264人
世帯数	235,188世帯

(令和5(2023)年4月1日現在)

宇都宮商工会議所の概要

宇都宮商工会議所

創立日	明治26(1893)年8月12日
会頭	藤井 昌一
所在地	栃木県宇都宮市中央3-1-4
会員数	6,312事業所

(令和5(2023)年4月1日現在)

〈主要事業〉

企業活力の強化

地域経済の基盤である中小企業、小規模事業者に対し、個々の企業の経営課題の克服に向け、外部専門家や関係機関との連携による各種支援施策を積極的に活用し、企業の体質強化や成長を推進する。

地域経済の活性化

中心市街地活性化や商店街活動への支援、インバウンドを含めた観光振興や地域ブランドを活用した広域連携等を支援する。また、消費の拡大と地域商業の振興を図るとともに、産学官連携・農商工連携による、新しいものづくりを通して、地域産業のイノベーションを推進する。さらには、若者、女性、障がい者、高齢者、外国人など、企業の労働力確保を支援し、企業活力の向上を図る。

政策提言・組織・財政基盤の強化

国・県・市等の政策に会員や地域からの意見・要望を幅広く反映させるため、地域経済の先導者として、積極的な政策提言活動を実施する。また、事業運営の安定を図るため、会員サービスの充実と組織内部の生産性向上を図り、会員拡大・財政基盤の強化につなげる。

〈ビジョン〉

- ◎地域経済の先導者としての自覚と行動
- ◎選ばれ続ける団体として更なる変革
- ◎運営から経営への発想転換

〈活動指針〉

- ◎現場主義・双方向性の徹底
- ◎幅広いネットワーク力の活用
- ◎情報発信力の強化



現在入居している栃木県産業会館(1981年～)

宇都宮商工会議所 創立130周年記念誌

令和5(2023)年8月10日発行

発行所 宇都宮商工会議所
〒320-0806 栃木県宇都宮市中央3-1-4
Tel:028-637-3131 Fax:028-634-8694
<https://www.u-cci.or.jp>

編集発行人 宇都宮商工会議所 専務理事 野原 正祥

編集・制作 有限会社随想舎

本誌記事・写真・イラストなどの無断転載を禁じます。



ANNIVERSARY

宇都宮商工会議所

THE UTSUNOMIYA CHAMBER OF
COMMERCE AND INDUSTRY